



ワイヤレススクリーンミラーリングデバイス
クイックスタートガイド

法的免責事項

本文書について

- 本ドキュメントは関連製品の操作ガイドとして提供されるものであり、実際の製品と差異が生じる場合があります。実際の製品を優先してください。
- 製品バージョンアップグレードその他の必要性により、杭州海康威視デジタル技術株式会社またはその関連会社（以下「海康威視」と称します）は本ドキュメントを更新する場合があります。最新版ドキュメントが必要な場合は、www.hikvision.com（www.hikvision.com）。別段の定めがない限り、Hikvisionは本文書について明示的または黙示的な表明または保証を行いません。
- 本ドキュメントのご利用にあたっては、専門家の指導のもとで行うことを推奨します。

本製品について

本ドキュメントに記載されている製品は、中国本土での販売および使用のみを対象としています。本製品のアフターサービスおよび保守プランは、購入地の国または地域でのみご利用いただけます。

知的財産権に関する声明

- 本ドキュメントに記載されている製品に含まれる技術について、Hikvisionは関連する著作権および/または特許権を保有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のいかなる部分（テキスト、画像、図表等を含む）の著作権もHikvisionに帰属します。書面による許可なく、いかなる組織または個人も本文書の全部または一部を抜粋、複製、翻訳、改変することはできません。
- **HIKVISION**、**海康威視**などはHikvisionの登録商標です。
- 本文書に記載されているその他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

- 法律で認められる最大限の範囲において、本文書および記載されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア等を含む）は「現状有姿のまま」提供され、欠陥や誤りが存在する可能性があります。Hikvisionは、商品性、品質満足度、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない、いかなる明示的または黙示的な保証も提供しません。また、本ドキュメントまたはHikvision製品の使用に起因する、商業的利益の損失、システム障害、データまたは文書の損失を含むがこれらに限定されない、いかなる特別、付随的、偶発的または間接的な損害についても賠償責任を負いません。
- お客様はインターネットの開放性という特性を認識し、製品をインターネットに接続することにより、ネットワーク攻撃、ハッキング、ウイルス感染などのリスクが生じる可能性があることを承知の上でご利用ください。Hikvisionは、これにより生じた製品の動作異常、情報漏洩などの問題について責任を負いませんが、製品に関する技術サポートを適時提供いたします。
- 本製品を使用する際は、適用される法令を厳守し、第三者の権利（知的財産権、データ権利、その他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない）を侵害しないようご注意ください。また、本製品を大量破壊兵器、生物化学兵器、核爆発、安全でない核エネルギー利用、または人権侵害の目的で使用してはなりません。
- 本文書の内容が適用される法律と矛盾する場合は、法律の規定を優先します。

© 杭州海康威視デジタルテクノロジー株式会社。無断複写 転載を禁じます。

前 はじめに




本項の目的は、本マニュアルを通じてユーザーが製品を正しく使用し、操作中の危険や財産損失を回避できるようにすることです。本製品を使用する前に、製品マニュアルをよくお読みいただき、将来参照できるよう大切に保管してください。

概要

本マニュアルはワイヤレススクリーンミラーリングデバイスに適用され、デバイスの使用方法を説明します。

記号の定義

本文書で使用される記号の説明は以下の通りです。

記号	説明
 説明	説明文：本文の補足や解説を示します。
 注意	注意類の文字：重要な操作や潜在的な傷害・財産損失の危険に対する注意喚起を示します。回避しない場合、傷害事故、機器損傷、業務中断を引き起こす可能性があります。
 危険	危険を示す文字：重大な潜在リスクがあり、回避しない場合、死傷事故につながる重大な危険があることを示します。

安全使用上の注意事項

- 1 基板搭載型 +1 セラミックコンデンサアンテナ、2T2R、伝送速度は20Mb/s以上。メーカー指定のプログラムによる調整が必要であり、任意に変更してはならない。
- 使用環境や使用条件の変更、送信周波数範囲の拡大、送信電力の増大（追加のRFパワーアンプの取り付けを含む）、送信アンテナの変更を無断で行うことは禁止されています。
- 他の合法的な無線局（ステーション）に有害な妨害を与えてはならず、また有害な妨害からの保護を要求してはならない。
- 放射される高周波エネルギーに耐えるべき産業・科学・医療（ISM）用途機器の妨害、または他の合法的な無線局（ステーション）からの妨害を受け入れること。
- 他の合法的な無線局（ステーション）に有害な妨害を与える場合は、直ちに使用を停止し、妨害を除去する措置を講じた後にのみ使用を継続できる。
- 航空機内、及び法令・国家関連規定・基準に基づき設置された電波天文台、気象レーダー局、衛星地球局（測距・受信・航法ステーションを含む）などの軍民用無線局（ステーション）、空港などの電磁環境保護区域内でマイクロパワー機器を使用する場合、電磁環境保護及び関連業界主管部門の規定を遵守しなければならない。
- 空港滑走路中心点を円心とし半径5000メートルの区域内における各種模型用リモコンの使用を禁止する。
- 動作電圧：5V、動作温度範囲：0～40°C。

第1章ワイヤレススクリーンミラーリングデバイス クイックスタートガイド

ワイヤレス画面ミラーリングデバイスを使用すると、PCやスマートフォンの画面を会議用タブレットに投影できます。

説明

- 画面投射前に、会議用タブレットのホットスポットが有効になっていることを確認してください（投射器を挿入すると自動的にホットスポットが起動します）。
- 投影距離は10m以内で良好な効果を得られますが、実際のWi-Fi環境によって異なります。
- 投屏器が新バージョンを検知すると、自動的にアップグレードされます（時間がかかります）。アップグレード中は投屏器を抜かないでください。
- 投屏器をPCのUSB Type-Cポートに接続後、PCの充電が必要な場合は、投屏器のUSB Type-Cポート経由で充電を継続できます。最大60Wの急速充電に対応していますが、無理な抜き差しは避けてください。

自動ペアリングによる画面共有

手順1 投屏器を会議用タブレットのUSB Type-CまたはUSB Type-Aポートに接続すると、投屏器と会議用タブレットが自動的にペアリングされます。

注意

ペアリング中は投屏器を抜かないでください。

手順2 「ペアリング成功」の表示後、投屏器を抜き、PCのUSB Type-CまたはUSB Type-Aポートに接続すると、PCが自動的に投屏ソフトウェアを起動します。





説明

PCが初めて投屏器に接続する際は、手動でワイヤレス投屏ソフトウェアを起動する必要があります。Windows 10の操作パス例：このPC→CDドライブ→ScreenCast.exe。

手順3 画面に投屏プロンプトが表示されたら、投屏器表面の投屏ボタンを軽く押すか、画面の「投屏開始」をクリックすると、画面が会議用タブレットに投射されます。



- 画面共有を終了：画面共有器表面の共有ボタンを再度軽く押すと、画面共有が終了します。
- 複製モード：PC画面を複製します。拡張モード：会議用タブレットをPCの拡張画面として使用します。

- 音声スイッチ:  は音声オン、 は音声オフを示します。
- 逆方向制御:  は逆方向制御オン、 は逆方向制御オフを示します。オンにすると、会議用タブレットからPCを操作できます。
- 高解像度投屏: 投屏器をPCのUSB Type-Cポート (DP出力対応)に接続すると、高解像度投屏が可能。

手動ペアリングによる画面共有

説明

会議用タブレットのホットスポット名、パスワード、ホットスポットIPアドレス、または会議用タブレットが接続しているWi-Fiの名称、パスワード、IPアドレスを取得済み。

手順1 スクリーンミラーリングデバイスをPCのUSB Type-CまたはUSB Type-Aポートに接続すると、PCが自動的にミラーリングソフトウェアを起動します。

説明

PCが初めて投屏器に接続する際、手動で投屏ソフトを実行する必要があります。Windows 10の操作パスを例に挙げます: このPC→CDドライブ→ScreenCast.exe。

手順2 「」をクリックし、「手動ペアリング」を選択。 で会議用タブレットのホットスポット名、パスワード、IPアドレスを設定・保存。



手动配对

网络名称 搜索

网络密码 请输入密码

大屏设备IP 请输入大屏设备IP

取消 保存配置

手順3 画面に投屏プロンプトが表示されたら、投屏器表面の投屏ボタンを軽く押すと、画面を会議用タブレットに投屏できます。

スマートフォンNFC画面共有

ワイヤレス投屏器を使用すると、スマートフォン画面を会議用タブレットに投屏できます (スマートフォンに投屏アシスタントがインストールされ、NFCが有効になっていること)。

手順1 ミラーリングデバイスを会議用タブレットのUSB Type-CまたはUSB Type-Aポートに接続すると、デバイスとタブレットが自動でペアリングされます。「ペアリング成功」の表示後、ミラーリングデバイスを抜いてください。

注意

ペアリング中は投屏器を抜かないでください。

手順2

ミラーリングアダプターをスマートフォンの背面に貼り付け、スマートフォンにミラーリングの通知が表示されたら、ミラーリングを開始できます。

制限物質または元素表示表

『電気電子製品有害物質使用制限管理弁法』制限物質または元素表示表

一部名称	『電気電子製品有害物質使用制限管理弁法』制限物質または元素					
	鉛(Pb)	水銀(Hg)	カドミウム(Cd)	六価クロム(CrVI)	ポリ臭化ビフェニル(PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE)
金属部品	×	○	○	○	○	○
プラスチック部品	○	○	○	○	○	○
ガラス部品	×	○	○	○	○	○
プリント基板	×	○	○	○	○	○
電源（ある場合）	×	○	○	○	○	○
添付ファイル	×	○	○	○	○	○
<p>本表はSJ/T 11364-2014の規定に基づいて作成された。</p> <p>○は、当該有害物質が当該部品の全均質材料において GB/T 26572-2011 で規定された制限値以下であることを示す。</p> <p>×は、当該有害物質が少なくとも当該部品の特定均質材料においてGB/T 26572-2011規定の制限値を超過しており、かつ現時点で業界に成熟した代替案が存在しないことを示す。EU RoHS指令の環境要求に適合する。</p> <p>本マーク内の数字は、製品が正常な使用条件下（安全使用上の注意事項または製品設置環境説明を参照）における環境配慮使用期限を示します。本製品の内部・外部部品にも環境配慮使用期限マークが付いている場合があり、その環境配慮使用年数は当該部品マーク内の数字を基準とします。</p>						
						

本製品の使用期限を超過した場合、または修理後も正常に動作しない場合は、廃棄しないでください。廃棄電気電子製品処理資格を有する企業に処理を委託してください。適切な処理方法については、国または地域の

廃棄電気電子製品処理に関する規定。

製品品質合格証

Qualification Card

